

## News from Hatsutani Chizue

Hatsutani Chizue : A member of Mobera City Assembly

### 地域医療フォーラムが開催されました！

当直医の夜間不在は平成 21 年度上半期中に  
解消できるように最大限努力



昨年 12 月 14 日（日）に茂原市民会館にて、広域市町村圏組合の主催による”長生地域の救急医療を考える”と題して「地域医療フォーラム」が地域住民や医療関係者ら 6 百人の参加のもと開催されました。これは長生郡市の救急医療の現状を広く住民に知らせ、問題意識を共有し、医師会や行政の協力だけでなく住民にも協力してもらい、救急医療の改善を目指すためです。約 2 時間半にわたり、医師・行政・市民の立場から意見が交わされました。

現在、長生郡内では夜間に救急患者を受け入れることができない、2 次救急病院の空白日が 10 日程発生しており、年間約 40% のぼる患者が管外搬送されている状態です。いわゆる、当直医の夜間不在による空白日の解消は本地域の最重要課題となっております。当日、広域市町村圏組合の管理責任者である田中市長から「平成 21 年度上半期中に空白日をなくすように最大限の努力をして行きたい」という力強い抱負が語られました。

フォーラムは広域組合の下部組織・長生郡救急医療体制検討委員会が主体となって開催され、委員長の宍倉朋胤氏が策定した 21 年度の救急医療計画が公開されました。その内容は 2 次救急を受け入れている公立長生病院をはじめ、民間 4 病院で発生している「空白日」をゼロにする事を柱に、住民参加の救急救命講習（AED 講習）や「こども急病電話相談・#8000 番」の活用などを掲げています。

管内唯一の公立病院の長生病院は 20 年 4 月から新たに桐谷病院長が赴任し、人員確保を目指して改革が進められ 11 月には常勤内科医が 8 名に増員され、2 次待機の当番も月に 10 日から 12 日の受け入れ体制が整うようになりました。院長は「市民病院として医師の過重労働を避けつつ、2 次診療の回数を増やしていきたい」と抱負を述べられました。

また、茂原市長生郡医師会の菅原黎明会長は「救急医療従事者の待遇改善や患者側のコンビニ的受診」など、救急医療のための住民の理解と協力を求めました。



はつたに ちづえ

## 特集：市政報告

平成 20 年第 4 回定例会は 12 月 4 日から 12 月 18 日までの会期 15 日間で開会され、各議員による質問がされました。下記にその質問内容の一部と市政の現況報告をいたします。

### ● 子育て支援室・企業誘致推進室が設置されました。

平成 20 年 10 月 1 日より役所内的一部組織変更がありました。児童家庭課内に「子育て支援室」を設置し、市民の方々に分かり易く、そして関係機関と連携しやすい組織としました。また、商工観光課内に企業誘致推進室を設置し積極的に企業誘致活動をするため、更に組織の充実が図られました。現在、幾つかの企業から引き合いがある状況ですが、市は具体的な企業名を言う事は差し控えています。

### ● 長生農協に米粉製粉機が導入されました。

米の消費拡大と食料自給率の向上、更に地産地消の推進を図る目的のため JA 長生の本所に小型米粉製粉機が導入されました。全体事業費は 3,328,500 円で県の補助金は 98 万円で各 7 カ市町村は一律 30 万円の負担で残りは JA 長生が負担をしています。利用料金は長生郡市の住民が 1 kg 当り 120 円で、それ以外の方は 200 円となっております。また、利用方法は毎週火曜日、木曜日に稼働しますので、稼働日前日までに JA 長生に申し込むことになっています。是非、皆さんも米粉を使った料理を作つてみてはどうですか？

### ● 小中学校 5 棟の耐震診断が実施されます

12 月補正予算で、小中学校 5 棟の耐震診断業務委託料が予算化されました。これは新たに創設された”地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金”を活用して、優先度ランク 2 に当たる東郷小・中の島小・本納小・五郷小と本納中の小中学校 5 棟の耐震診断を実施しようとするものです。今後も、このような交付金制度を活用するなど、市の負担を軽減できるような方法で、耐震化を進める働きかけをすると共に、これからも第 1 次耐震化計画通りに耐震化が進められるのを見守って行きたいと思っています。

### ● 全中学校 7 校に AED（自動体外式除細動器）が設置されます

12 月補正予算で、匿名寄付による市内全中学校 7 台分の AED 購入代金が予算化され、各中学校に AED が 1 台づつ設置される事となりました。AED とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。心室細動の唯一の治療方法が、除細動器（AED を含む）で電気ショックを与えることだと言われています。生存率は 1 分経過することに約 10%ずつ失われると言われ、発作を起こした最初の数分間に AED を使用することが救急救命に必要とされています。

### ● 駅前学習プラザは平成 21 年度中に撤退する事も検討中

平成 21 年度の予算編成に当たっては、既存の制度、施策について、根本から見直しを行うという方針に基づき枠配分を実施しています。その中で駅前学習プラザは、費用対効果を勘案し、更に、現行の機能を他の既存施設に移動することも可能である等の判断から、平成 21 年度中ににおいて撤退する事も視野に入れて予算編成の中で検討している事が分かりました。

## はつたにちづえ公式サイトのお知らせ

はつたにちづえの公式ホームページを平成 13 年 8 月に開設しました。

「ちづえだより」で伝えきれない情報はこちらに掲載しています。

アドレスは <http://www.chizue.jp/> です。この他、Yahoo 検索エンジンで「はつたに」と入力して探すことができます。

  
Powered by Internet